

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

| | | | | |
|-----------|---|---|---|------------|
| お買い上げ日 | 年 | 月 | 日 | 製造番号 (NO.) |
| 販売店 (TEL) | | | | |

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

☎ 0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



| | | | |
|--------|----------------------|-------|----------------------|
| ●北海道支店 | TEL (011) 786 - 5122 | ●北陸支店 | TEL (076) 263 - 4311 |
| ●東北支店 | TEL (022) 288 - 8676 | ●関西支店 | TEL (06) 7167 - 3644 |
| ●東京支店 | TEL (03) 5753 - 7703 | ●中国支店 | TEL (082) 504 - 8282 |
| ●関東支店 | TEL (03) 6374 - 5687 | ●四国支店 | TEL (087) 863 - 6761 |
| ●中部支店 | TEL (052) 533 - 0231 | ●九州支店 | TEL (092) 621 - 5772 |

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99749701 306 G

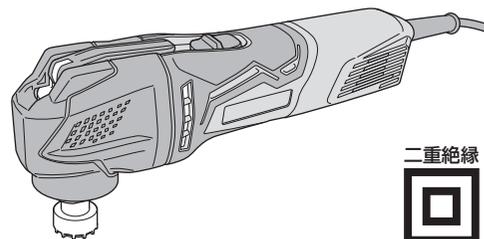
HiKOKI

取扱説明書

マルチツール

CV 350V2

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



お得な情報や
ユーザー登録は
コチラから!



| | |
|--------------|---|
| 電動工具の安全上のご注意 | 1 |
| 二重絶縁について | 5 |
| 本製品の使用上のご注意 | 5 |
| 各部の名称 | 7 |
| 標準付属品 | 7 |
| 用途 | 8 |
| 仕様 | 8 |
| 別売部品 | 8 |

はじめに

| | |
|----------------|----|
| ご使用前の準備 | 9 |
| 操作方法について | 10 |
| 先端工具の取付け・取りはずし | 11 |
| 切断する | 13 |
| 研磨する | 15 |

使い方

| | |
|---------|-----|
| 保守・点検 | 17 |
| ご修理のときは | 裏表紙 |

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

⚠警告

感電、火災、重傷を招く事故を未然に防ぐため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、文中の「電動工具」とは、電源式（コード付き）電動工具を示します。

作業場の安全性

- ① **作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。**
散らかった暗い場所や作業台は、事故を招く恐れがあります。
- ② **爆発を誘引することがある可燃性の液体やガス、または粉じんがある所で電動工具を使用しないでください。**
電動工具から発生する火花が発火の原因になります。
- ③ **電動工具の使用中は、子供や第三者を近づけないでください。**
注意が散漫になり、操作に集中できなくなる場合があります。

電気に関わる安全性

- ① **電動工具の電源プラグに合ったコンセントを使用してください。電源プラグを改造しないでください。また、アダプタプラグをアース（接地）された電動工具と一緒に使用しないでください。**
改造していない電源プラグおよび、それに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。
- ② **電動工具の使用中は、金属製のパイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などアース（接地）されている物に体を接触させないようにしてください。**
体が触れた場合、感電のリスクを増大させます。

⚠警告

屋外で使用する際には、③～⑤の注意が必要です。

- ③ **電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。**
電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
- ④ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - 電動工具を移動させたり、引いたり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。
 - コードは、熱、油、角のとがった所、または動く物からはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
- ⑤ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。

人への安全性

- ① **電動工具の使用中は、油断をせず、常識を働かせ、いま自分が何をしているかに注意して作業してください。**
疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは使用しないでください。一瞬の不注意で、深刻な傷害を招く場合があります。
- ② **安全保護具を使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
 - 滑り防止安全靴やヘルメット、耳栓やイヤマフなどの安全保護具を使用することで、傷害のリスクが軽減されます。
- ③ **不意な始動を避けるため、電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。**
スイッチに指を掛けて運んだり、スイッチが入っている電動工具の電源プラグをさし込むと、不意に始動し事故を招く恐れがあります。
- ④ **電動工具の電源を入れる前に、レンチや調整キーをはずしてください。**
工具の回転部分にレンチやキーなどを付けたままにしておくと、傷害を招く恐れがあります。
- ⑤ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に適切な足場とバランスを維持することで、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服や装飾品は着用しないでください。
 - 髪や衣服、および手袋を回転部に近づけないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **集じん装置が接続できる物は、適切に使用してください。**
粉じんによる人体への悪影響を軽減することができます。

⚠ 警告

電動工具の使用および手入れ

- ① 無理に使用せず、用途に合った電動工具を使用してください。
用途に合った電動工具を使うことでより良く、安全な作業が行えます。
- ② スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は事故を招く恐れがあるので、使用せず修理を依頼してください。
- ③ 誤作動防止のため、次の作業前は電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 準備や調整。
 - 付属品や別売部品の交換。
 - 保守・点検や保管。
 - その他、危険が予想される場合。このような安全対策によって電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
- ④ 使用しない電動工具は、子供の手が届かない所に保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。
電動工具を扱い慣れていない者に渡すと事故の原因になります。
- ⑤ 電動工具の保守・点検を適切に行ってください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が不十分であることが、事故の原因となります。
- ⑥ 先端工具は、鋭利かつ清潔に保ってください。
先端工具を適切に手入れし、先端を鋭利に整えておくことで、作業を円滑にし操作が容易になります。
- ⑦ 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件や、実際の作業を考慮し、取扱説明書に従って適切に使用してください。
取扱説明書に書かれていない使用方法で作業すると、傷害を招く恐れがあります。
- ⑧ 電動工具は異常な高温、または低温の場所で使用すると能力を十分発揮できません。

整備

- ① 電動工具の修理は、修理専門要員が純正交換部品だけを用いて行ってください。
これにより電動工具の安全性を維持することができます。

その他の項目

- ① 取扱説明書はお読みになった後も、使用する方がいつでも見られる所に大切に保管し、利用してください。
他の人に電動工具を貸し出す際は、取扱説明書も一緒にお渡しください。

⚠ 警告

- ② 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ③ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ④ 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑤ 作業前に確認してください。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
 - 巻き込まれる恐れのある手袋はしないでください。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
 - 保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
 - コードや延長コードは事前に点検し、損傷している場合には修理・交換してください。
 - 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑥ 電動工具は取扱説明書に従い、正しく使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - 電動工具は指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑦ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用しないでください。
- ⑧ メンテナンスをきちんと行ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違っ て組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、マルチツールについて、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 直流電源やエンジン発電機、変圧器などの電源で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ 作業する箇所に、内部配線・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- ④ 金属を加工すると火花が飛散する恐れがあります。引火しやすい物は、安全な場所に遠ざけてください。
- ⑤ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ⑥ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑦ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、先端工具や機体に破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 使用中は、先端工具や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
- ③ 使用直後の先端工具、工具取付部および金属部品は高温になっているので、触れないでください。
- ④ 先端工具でコードを切断しないように注意してください。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑦ 先端工具を取付ける際は、レバーに指などを挟まないように注意してください。

○ 騒音防止規制について

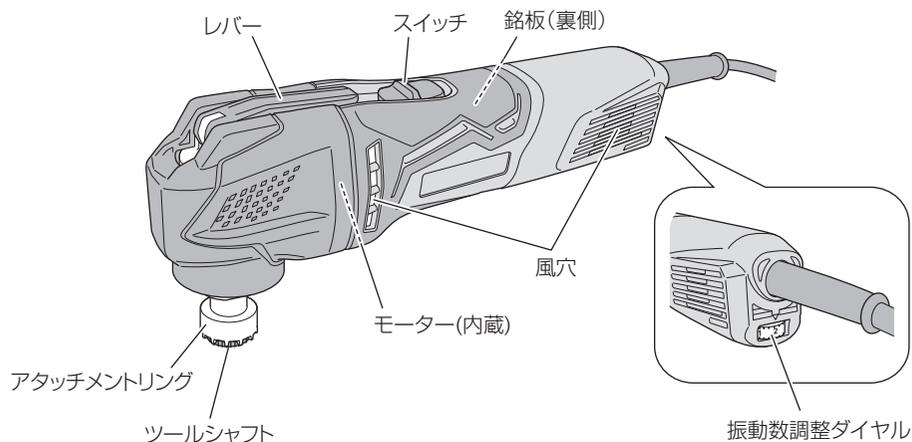
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

警告マークについて

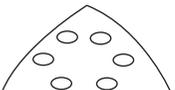
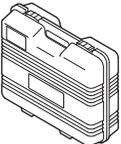


このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源プラグをコンセントにさしたまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

各部の名称



標準付属品

| | | |
|----------------------------------|---|-----|
| ブレード MSD 32PBC |  | 1 個 |
| サンドペーパー取付け用パッド MU 93D |  | 1 個 |
| サンドペーパー (#60、#120、#240 各 2 枚) |  | 6 枚 |
| アクセサリケース |  | 1 個 |
| ブローケース |  | 1 個 |

用途

- 各種材料の切断、ポケット加工
- コーキング・タイル等の剥離
- 木材等の研磨

仕様

| 形 名 | CV 350V2 |
|-------------------------|--|
| 使用電源 | 単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V |
| モーター | 単相直巻整流子モーター |
| 全負荷電流 | 4.1 A |
| 消費電力 | 350 W |
| 無負荷振動数 | 通常モード(ダイヤル1~5): 6,000 ~ 20,000 min ⁻¹ {回/分} |
| | オートモード(ダイヤルA): 15,000 min ⁻¹ {回/分} |
| 振動角度 | 3.2° (両側合計) |
| 質 量 | 1.5 kg (コードを除く) |
| コ ー ド | 2 心キャブタイヤコード 2.5 m |
| 振動 3 軸合成値 ^{*1} | 研磨時: 5.5 m/s ² ^{*2} 切断時: 11.3 m/s ² ^{*2} |

※1: 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]

ウェブサイト: <https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
を参照してください。

※2: 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-4、EN60745-2-11 規格に基づき測定しています。

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

先端工具は、同梱の別売部品一覧を参照してください。また、最新の情報は弊社ホームページ、あるいは総合カタログをご覧ください。
詳しくは、お買い求めの販売店に問い合わせてください。

ご使用前の準備

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さと、最大長さの目安です。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

| コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積) | 最大長さの目安 (m) |
|--|-------------|
| 1.25 | 15 |
| 2 | 25 |
| 3.5 | 45 |

※ 導体公称断面積は、コードに表示されています。

●使用電源の確認

- 銘板に表示してある電源で使用してください。
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。
- 直流電源やエンジン発電機、変圧器、溶接機などの電源で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

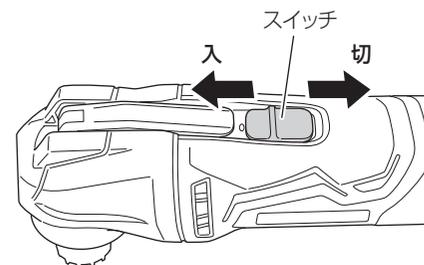
コンセントがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などに相談してください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

操作方法について

●スイッチの操作について

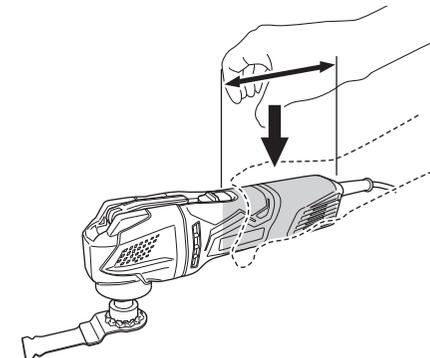
スイッチは図の方向にスライドさせると入/切りできます。



●機体の保持について

作業するときは、片手で機体を保持してください。

また、金属部分には、触れないでください。



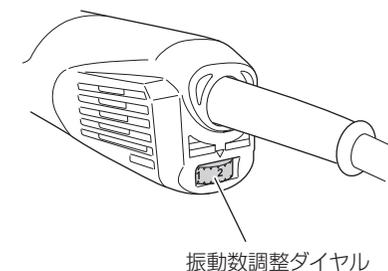
●振動数調整ダイヤルの操作について

本機には、「通常モード」と「オートモード」の2モードが備えられています。

「通常モード」は、振動数を 6,000 ~ 20,000 min⁻¹ の範囲で無段階に設定できます。

「オートモード」は、作業の負荷に応じて、振動数を 15,000 min⁻¹ と 20,000 min⁻¹ に自動で切り替えます。作業前・作業間の無負荷時に振動・騒音を下げることがあります。

ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合ったモードで使用してください。



| モード | ダイヤル | 振動数 |
|---------|-------|--|
| 通常モード | 1 ~ 5 | 6,000 ~ 20,000 min ⁻¹ {回/分} |
| オートモード* | A | 15,000 min ⁻¹ {回/分}(無負荷および軽負荷作業時) 20,000 min ⁻¹ {回/分} |

※作業条件や先端工具の種類によって、振動数が 20,000 min⁻¹ に上がらない場合や、15,000 min⁻¹ に戻らない場合があります。

⑧ 先端工具の取付け・取りはずし

⚠ 警告

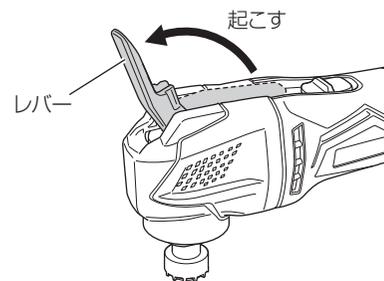
切れ味の悪くなった先端工具はそのまま使用しないでください。無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

⚠ 注意

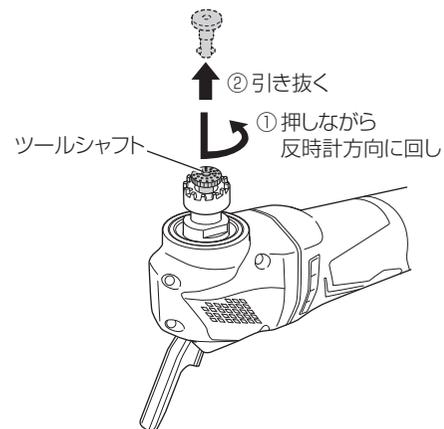
レバーには強いバネ力がかかっています。勢いよく倒れる場合がありますので、指などを挟まないようにしてください。

取付け

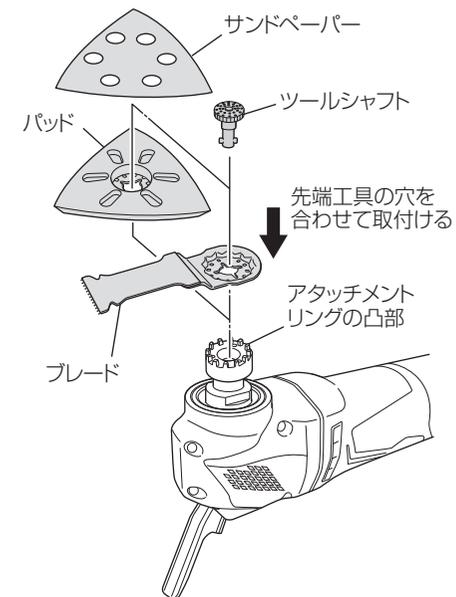
1 レバーを起こします。



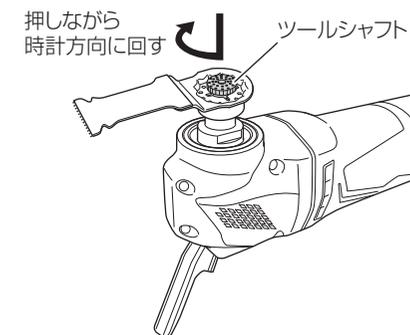
2 ツールシャフトを押しながら反時計方向に回して、引き抜きます。



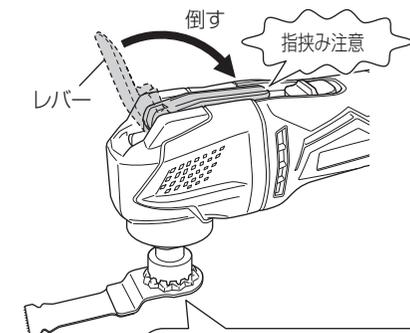
3 アタッチメントリングの凸部に、先端工具の穴を合わせて取付けます。先端工具は、取付角度を 30° ごとに設定することができます。



4 ツールシャフトをさし込み、押しながら時計方向に止まるまで回します。



5 レバーを倒します。先端工具が、確実に取付けられていることを確認します。



6 サンドペーパーは、パッドに穴を合わせて貼付けます。

取りはずし

取付け手順の 1, 2 に従い、先端工具を取りはずします。



切断する

- 各種材料の切断、ポケット加工
- コーキング・タイル等の剥離

⚠注意

- 機体のスイッチを入れるときは、先端工具が加工材などに接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、思わぬけがの原因になります。
- 切断時は、無理に押し付けしないでください。
先端工具の破損や機体の故障を招くだけでなく、けがの原因になります。

1 スwitchが切れていることを確認する

(P.10「スイッチの操作について」参照)

2 先端工具を点検する

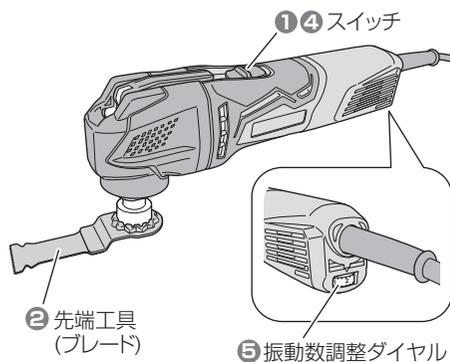
- 先端工具が正規のモノか、またヒビや割れ等がないか調べてください。
- 先端工具はガタつきなく取付けられているか点検してください。

注 先端工具にガタつきがある場合、P.11「先端工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、再度、先端工具を取付けてください。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

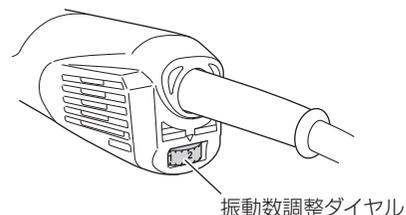
4 スwitchを入れる

(P.10「スイッチの操作について」参照)



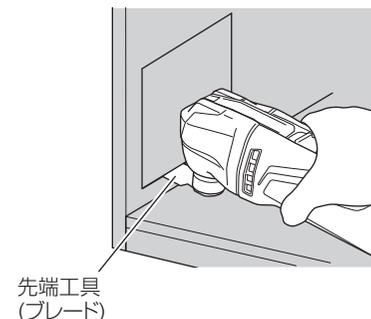
5 振動数調整ダイヤルの目盛りを合わせる

作業に応じたモードを設定します。
(P.10「振動数調整ダイヤルの操作について」参照)



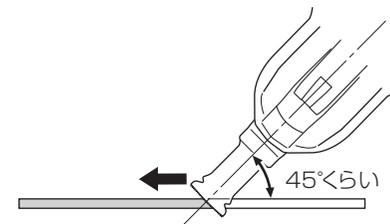
6 切断する

先端工具を材料に軽く当て、先端工具の動きが鈍くならない程度に、機体を前に進めます。

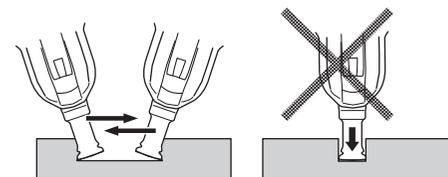


●効率良くお使いいただくために・・・

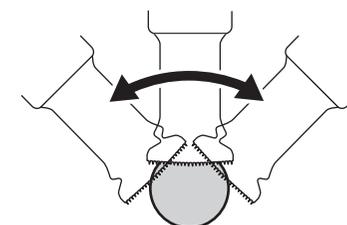
- 平板の切断方法
刃先を斜めに当て、平板を貫通した状態で前に進めると、効率良く切断ができます。



- 木材の深切り作業
まっすぐに機体を進めて深切り作業を行うと、途中で機体が進まなくなる場合があります。
先端工具の振れ幅より穴を広げながら少しずつ切り込み、最後に隅を決めると、より深く加工することができます。



- 棒材の切断作業
先端工具の刃先の当たる角度を適度に換えながら作業すると、効率良く切断ができます。



研磨する

●木材等の研磨

⚠注意

- 機体のスイッチを入れるときは、先端工具が加工材などに接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、思わぬけがの原因になります。
- 研磨時は、無理に押し付けしないでください。
先端工具の破損や機体の故障を招くだけでなく、けがの原因になります。

1 スwitchが切れていることを確認する

(P.10「スイッチの操作について」参照)

2 先端工具を点検する

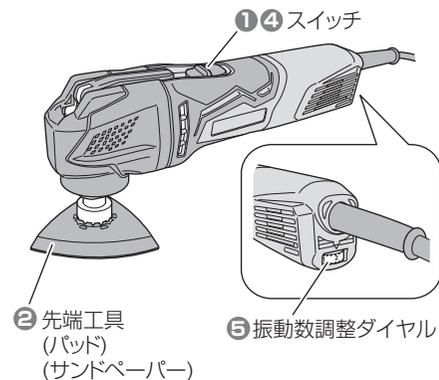
- 先端工具が正規のモノか、またヒビや割れ等がないか調べてください。
- 先端工具はガタつきなく取付けられているか点検してください。

注 先端工具にガタつきがある場合、P.11「先端工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、再度、先端工具を取付けてください。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

4 スwitchを入れる

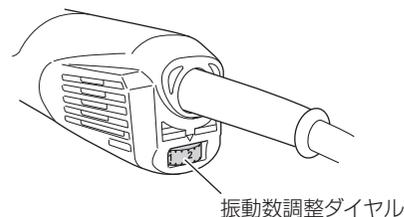
(P.10「スイッチの操作について」参照)



- 注** ●金属の研磨に使用したサンドペーパーは、木材の研磨に使用しないでください。
●摩耗したり、目詰まりしたサンドペーパーは使用しないでください。

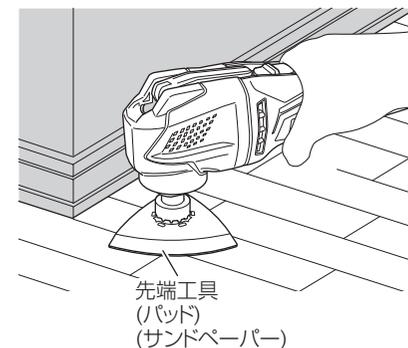
5 振動数調整ダイヤルの目盛りを合わせる

作業に応じたモードを設定します。
(P.10「振動数調整ダイヤルの操作について」参照)



6 研磨する

先端工具を材料に軽く当て、先端工具の動きが鈍くならない程度に、機体を前後に進めます。



●研磨のコツ

- サンドペーパーの当て方**
サンドペーパーが加工面に一様に当たるように機体を加工面に軽く押し付けます。必要以上に強く押し付けると、モーターに無理がかかり、サンドペーパーの寿命を短くするだけで、研磨能率を悪くします。
- パッド (MSU 70D) 【別売部品】 使用時**
サンドペーパーがパッドからはずれることがあります。その場合は、速度を落として作業をしてください。
- 機体の動かし方**
機体を手元から前方へ移動し、手元に引き戻すという往復運動を繰り返します。
- サンドペーパーの粒度が粗目で新しい場合は**
サンドペーパーの粒度が粗目で新しい場合は、使用のはじめに機体がバタつくことがあります。そのときは、押し付けをゆるめてください。
- 加工面が一様に研磨されるまでは**
加工面が一様に研磨されるまでは同一粒度のサンドペーパーを使用してください。作業途中で粒度の違うサンドペーパーに取り換えると、きれいに仕上がらない場合があります。
- 試し作業**
不要な材料で振動数を確認してから、作業を行うことをお勧めします。

● 機体の点検

各部位の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.7「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 50時間くらい使用しましたら、先端工具をはずした状態でモーターを無負荷運転してください。

モーター内部にほこりや粉じんがたまると、故障の原因になります。ほこりや粉じんがなく、乾いた空気的环境下で無負荷運転すると、空気がハウジングの風穴から吹き込まれることで、ほこりや粉じんを排出する効果があります。

● カーボンブラシの交換方法

モーター部には、消耗品であるストップカーボンを使用しております。
カーボンブラシを交換する場合は、決してご自分ではなさないで、お買い求めの販売店に依頼してください。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所